

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	スカフォールズ			
○保護者評価実施期間	2025年 3月 17日		～	2025年 4月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	19
○従業者評価実施期間	2025年 3月 10日		～	2025年 3月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 28日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達学博士監修の元、専門的支援員各々がこどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援を提供している	発達学博士監修の元、個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	引き続き、職員や事業の質向上に向けた研修を積極的に多々取り入れる
2	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されている	児童発達支援計画を作成するには、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている	引き続き、各種親子セッションとコーチングを取り入れ、親子の絆が深まる関わり方を提示していく
3	こどもが安心感を持って通所を楽しみにしており、事業所の支援への満足度が非常に高い	家族支援の際にこどもの状況を保護者と丁寧に伝え合い、こどもの発達状況について共通理解に努めている	引き続き、定期的にSNS等で活動概要や行事予定等の情報を発信する

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会が少ない	機会はあるが対象児が少ない	引き続き、支援上必要なケースでは自社の保育所での就園・食事サポートや療育施設で多角的に支援する
2	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に各種避難訓練を行っているが周知されづらい	利用開始時に説明しているが情報量が多く印象に残りづらい	引き続き、玄関掲示やSNS等で実施を報告する
3	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明し、発生を想定した訓練を実施しているが周知されづらい	利用開始時に説明しているが情報量が多く印象に残りづらい	引き続き玄関掲示やSNS等で実施を報告する